



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2014-2015年度 国際ロータリーのテーマ

2015年



クラブ会報・情報委員会

LIGHT UP ROTARY

R.I 会長 **ゲイリー C . K . ホアン**

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー **前原 勝 樹**

会長 **坪井 良廣** 幹事 **須永 博之**

後藤圭一・桑原志郎・塚越平人・吉野雅比古・立澤俊明

3月9日号

(第2932回・第2934回例会合同掲載)

第2932回例会

(2月16日(月)第3例会)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 点 鐘 | 7. 委員会報告 |
| 2. ローターソング斉唱 | 8. 卓 話 |
| 3. 来訪者紹介 | 「産地における繊維工業試験場の役割」 |
| 4. ポール・ハリス・フェロー表彰 | 群馬県繊維工業試験場 場長 上原 英之 様 |
| 5. 会長の時間 | 9. 点 鐘 |
| 6. 幹事報告 | |

ようこそビクター

卓話者 群馬県繊維工業試験場 場長 上原 英之 様

米山奨学生 ホアン・ミン・チエン 君

ポール・ハリス・フェロー表彰

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
3回 塚越 紀隆君
1回 松島 宏明君
ポール・ハリス・フェロー
桑原 志郎君
水越 稔幸君



米山奨学生

ホアン・ミン・チエン君
奨学金授与



会長の時間

昨日二月十五日は、涅槃会でした。

この二月十五日はどういう日かと申しますと、お釈迦様が涅槃に入られた日であります。この涅槃というのは、古代インドの言葉であるサンスクリット語でニルヴァーナといいますが、このニルヴァーナを漢訳した言葉で、煩惱の火がふっと吹き消された状態、その安らぎを意味します。お釈迦様は、それまでにすでに煩惱を滅して、安らかな悟りの境地にあられたのですが、私たち同様、人間の身としてこの世に、約二千五百有余年前、インドに現存しておられました。そのお釈迦様が現身として滅せられた、つまりお隠れになられ、もはや肉身という物質的な制約からも完全に離れて涅槃にお入りなられたのが、この二月十五日なのであります。御年八十才でございました。お釈迦様は、インドのどのような所で涅槃に

入られたかと申しまと、ネパールに近いインド北部に、クシナガラという都がありまして、その近くに跋提河(ばつだいが)という大きな河が(ラニャバティーとも言われています)流れています。その河のほとりに沙羅双樹という大きな木がありまして、その二つの木の間に身を横たえられ、最後の説法をなされた後、夜半に寂かに滅度にお入りなられたわけです。沙羅双樹については、平家物語の「祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の芭、盛者必衰の理(ことわり)をあらわす」という句で、皆さんよくご存じだと思いますが、そのときあたりは、しんしんとして、物音一つしなかったと、遺教経に説かれています。

さて、しんしんと夜が更け、あたりは寂然とした空気につつまれる中、お釈迦様は最期の説法をなされ、いよいよ終わりに、「弟子たちよ、常に一心に、ほんとうの正しい道を求めて歩みなさい。世間の一切のすがた・かたちは、みな壊れやすく少しも休まることがないのであるから、そういう仮の姿に頼ってはいけません」とお諭しになり、「もう今は何も言わず、静かに私の滅度を見とどけよ。時はまさに過ぎようとしている、私は今滅度しようとしている」とお諭しなされました。

今の私たちも、その最後のお諭しを、お釈迦様を間近にしてお聞きしているように感じられる言葉です。「時まさに過ぎなんとす(時はまさに過ぎようとしている)」：「そうであればこそ、私たちはこの「今」を大切に、我が身を振り返り、日々つとめて精進すべきであります。

世間のすがた・かたちは、みな壊れやすく少しも休まることがない：それは文明が発達した今も、いささかも変わらないのでありますから。その思いを深くし、あらためてお釈迦様の、み教えのご恩に思いを致し仏道に精進してまいりたいと存じます。

(報告)

- ・2/9 次年度理事予定者会議
- ・2/12 I M懇親部会

(予定)

- ・例会終了後、クラブ協議会
- ・2/18 IM 事業部会
- ・2/20 IM 総務部会
- ・2/21 IM・ガバナー歓迎会
- ・2/23 2/21IM に振替の為、休会
- ・2/25 家族会役員会 若宮
- ・2/26 桐生第一高校 IAC 表敬訪問
会長、幹事、朝倉青少年奉仕委員長
- ・3/2 夜間例会
「赤城山利き酒会」近藤酒造 豊田館
定例理事会

幹事報告

- ・米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」が届いております。
- ・日本てんかん協会より「からっかぜ」が届いています。
- ・桐生西、桐生中央、桐生赤城の各 RC より週報到着。
- ・例会終了後、クラブ協議会を開催致しますので、理事・役員、各委員会委員長は、ご出席よろしくお願い致します。
- ・次週 2/23(月)例会は、21(土)IM の振替で休会となります。事務局もお休みとなりますので、お間違えのないようお気をつけください。
- ・3/2(月)例会は、「赤城山利き酒会」の夜間例会です。18時近藤酒造にて点鐘、19時豊田館にてお食事となります。バスは、17時30分桐生倶楽部発ですので、乗車予定の方は、お間違えのないようお願い致します。定例理事会も、16時30分から開催致しますので、理事役員の方は、ご出席よろしくお願い致します。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成27年2月16日)

総員66名:出席47名

平成27年2月2日例会修正出席率:86.88%

ニコニコボックス

牛腸章君、澤田匡宏君、柳明彦君、朝倉剛太郎君、荒木千恵子さん...上原場長をお迎えしてノ塚越紀隆君、阿部篤朗君...誕生祝。

米山奨学委員会

竹内 靖博会員 25,000円

卓話



「産地における
繊維工業試験場の役割」

群馬県繊維工業試験場
場長 上原 英之 様

群馬で一番の歴史と伝統のある桐生ロータリークラブでお話しをする機会をいただき感謝しております。繊維産業に携わっていない方も多いと思いますが、これを機会に繊維工業試験場や繊維産業に対して御理解をいただければと思います。

1. ぐんまの経済状況

- ・群馬県の産業指標は、全国47都道府県のうち県民総生産17位、製造品出荷額14位、商業年間販売額16位等10位代が多い状況です。
- ・製造品出荷額については、20年前は輸送用機器と電気機器で25%づつを占めていましたが、現在では、輸送用機器が38%を占めるなど、大きく変化しています。

2. ぐんまの繊維産業

- ・群馬県全体と桐生を比較すると、輸送用機器は同じような比率ですが、繊維の占める率が群馬県0.9%桐生10.5%であり、桐生市にとって繊維産業の重要度が高いことが分かります。とはいえ、繊維工業に関しては、平成3年をピークに製造品出荷額、事業所数、従業員数いずれも減少しています。主な要因の1つとして、安価な輸入品の増加であり、日本で流通している衣料品数の96%が輸入品となっています。
- ・大変な状況ですが、悲観してばかりでは居られませんが、また、桐生の繊維産業には、まだまだ力があると考えています。
- ・桐生の繊維産業には全国に珍しい大きな特徴が3つあります。1つ目は、あらゆる繊維素材の加工が可能なことです。2つ目は、和装、洋装、インテリア等、あらゆる繊維製品を作っていることです。そして3つ目は、これが最も大きな特徴ですが、世界に通じる技術を持った企業、開発志向の強い企業があるということです。
- ・このようなぐんまの繊維産業が今後目指す方向は、企画提案型企業・試作開発型の産地になること。また、蓄積された繊維の技術を医療・健康科学、環境・エネルギー等、新たな成長分野での活用が重要となります。

3. 群馬県繊維工業試験場

- ・繊維工業試験場は、染織業の改善を図るため明治38年に設置されました。現在、全国で唯一の繊維専門の単独の公設試験場です。
- ・研究開発、技術支援、人材育成・情報提供、産地課題への対応の4つの柱で運営しています。
- ・このうち、特に重要なのが研究開発だと思っています。「防災カーテンの開発」「インフルエンザウイルス

不活化抗体添着フィルターの開発」「合成繊維へのセリシン・フィブリン加工」など、大きく飛躍できるような、夢のある研究を行っています。

4. 3つのプロジェクト

・昨年、桐生にとって大きな出来事がありました。1つは、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録です。構成資産としては残念ながら桐生は入れなかったのですが、養蚕・製糸・織物の流れの中で桐生織物は重要な要素となっています。もう1つは、西暦714年に上野国（現在の群馬県）から朝廷に絹織物を納めたことが記載されており、1300年を記念して大々的に行事を行ったことです。・このような動きを大チャンスととらえ、積極的に対応していこうと考え、試験場の4つめの柱「産地課題への対応」として3つのプロジェクトに取り組みました。

・そのうちの1つ「世界遺産シルク製品開発プロジェクト」では17社と試験場で共同研究としてシルク製品開発を行いました。一般的にものづくり企業は、「技術があるので作るのは得意だが、売れる物を作るのは難しい」という声をよく聞きます。このプロジェクトでは、マーケティング、ターゲットの絞り込み、製品コンセプトの確立、開発・製造、製品デザイン、パッケージデザインから販売まで、入り口から出口までお手伝いしました。

・製品企画、デザインや販売は、本来の試験場の業務ではないかもしれませんが、群馬の繊維産業が縮小している中、従来どおりの仕事をしているだけではなく、一歩進んだ支援が必要ではないかと考えています。

・桐生ロータリークラブの会員の皆様も経営者が多いと思いますが、企業経営と同じだと思います。売上げが落ちてきたら、売上げが伸びるように従来の顧客に営業する。更に新規開拓する。変動費比率が下がるように工程改善を行う。それでも駄目なら固定費の削減を行う。繊維工業試験場も、企業と同じ感覚で仕事をする必要があると考えています。

5. 今後の研究開発

・今後の試験場の研究開発の方向性ですが、やはり、新しい分野への研究に力を入れたいと考えています。群馬県では、平成25年に「がん特区」に認定されましたが、これに関連して、現在、「がんマーカー細胞を好感度迅速に検出するデバイスの開発」等に力を入れています。・また、農業生物資源研究所との共同研究により「遺伝子組み換え蚕」などにも積極的に関わってまいります。

6. 結びに

・国の「ものづくり・商業・サービス革新事業」の補正予算が決まりました。過去にも平成24年度補正、25年度補正を2カ年間実施され、好評で、企業にとっておいしい事業です。この獲得に向けて県でも、もちろん繊維工業試験場もお手伝いしますのでお声がけ下さい。・今後も、繊維工業試験場を積極的に御利用ください。

家族役員会 平成 27 年 2 月 25 日(水) 若宮にて



今回の家族会旅行は、5月21日(木)青梅方面で決定致しました。

桐生第一高等学校インターアクトクラブ 表敬訪問 平成 27 年 2 月 26 日(木)

今年、10月に桐生第一高等学校インターアクトクラブ創立30周年を行いましたので、例年11月頃に表敬訪問、2月に交流会を行っていますが、今回は、会長、幹事、朝倉青少年奉仕委員長が表敬訪問に行ってきました。



【例会予告】

- | | |
|----------|---|
| 3月16日(月) | 卓話 (公益)桐生青年会議所
理事長 朝倉 康行 様
食事 友 奴 |
| 23日(月) | 卓話 大友 一之 君
食事 みさき |
| 30日(月) | 11/2クラシックカーフェスティバル
に振替の為、休会 |
| 4月6日(月) | 観桜会
点鐘 : 18時30分
場所 : 大龍 |



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2014-2015年度 国際ロータリーのテーマ
LIGHT UP ROTARY

2015年



クラブ会報・情報委員会

後藤圭一・桑原志郎・塚越平人・吉野雅比古・立澤俊明

R.I 会長 ゲイリーC.K.ホアン

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

会長 坪井 良廣 幹事 須永 博之

第2934回例会

(3月2日(月)第1例会 - 夜間例会 -)

赤城山利き酒会

18時：近藤酒造 19時：豊田館



みどり市大間々町
近藤酒造株式会社



常務取締役
近藤雄一郎様



記念に桐生RC創立62周年記念特別ラベルの
赤城山を作成してもらいました。

酒蔵見学 & 試飲



豊田館にてお食事



試飲
赤城山 大吟醸
赤城山 純米吟醸
赤城山 しぼりたて生酒

